

第22回尾道市長旗争奪シニア野球大会要綱

主催	尾道リトルシニア野球協会
後援	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会関西連盟中国支部 尾道市・尾道市教育委員会・尾道市体育協会・尾道ケーブルテレビ
会場	しまなみ球場・福山市民球場・三原市民球場・尾道商業高校・尾道高校 盈進高校・井原運動公園
大会運営	[参加チーム] 28チーム 関西連盟（中国9・近畿12・四国4）・東海連盟(3) [試合形式等] (1) 期 日 平成27年8月1日(土)～2日(日) 第1日目 7会場、各4チームに分かれて予選トーナメント戦（決勝トーナメント戦進出は、各会場の1位チームのうち得失点差の多い上位4チームとする。なお、得失点差が同じときの順位は、 「①総得点の多い ②総失点の少ない」の順によって決定する。） 第2日目 準決勝・決勝戦（3位決定戦は行わない） 予選敗退チームによる交流戦 (2) この大会は、日程の都合上つぎの特別規定を定め、関西連盟大会規定に基づき実施します。 ① 試合は7回戦とする。ただし、決勝戦を除き5回以降7点差をもってコールドゲームを採用する。 ② 予選トーナメント戦は、時間制を採用し試合開始後2時間を経過して新しいイニングに入らない。時間切れ同点のときは、最終出場メンバー18名による抽選で勝敗を決定する。 ③ 準決勝・決勝戦は、延長9回を終了し又は試合開始後2時間を経過し同点のときはタイブレーク（1死満塁、最長3回）を行い、さらに同点のときは最終出場メンバー18名による抽選で勝敗を決定する。 ④ 中学生投手の投球制限統一ガイドラインを遵守すること。なお、大会本部としては、投球回数確認シートなどによる管理は行わない。 ⑤ 規定の広さ、囲いのない球場での試合は、特別グラウンドルールを定める。このルールは、試合開始前に各会場の審判員より説明する。 ⑥ 試合前のシートノックは7分間とする。 (3) 大会第1日目の各試合の塁審・SBOは、各チーム2名協力願います。 (4) 1試合につき各チーム試合球（メーカー指定なし）3個を抛出願います。 (5) 各試合の進行は、各チームのアナウンス担当者に協力願います。 (6) 試合前のグラウンド整備は、両チームの選手に協力願います。
表彰	団体；優勝・準優勝・第3位／個人賞；最優秀選手賞・優秀選手賞・敢闘賞